



湖西市立東小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月29日(木)



「とても良い体験をさせていただき、
子どもたちにとって知ることが盛り沢山の授業でした。」

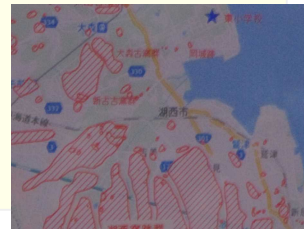
湖西市立東小学校の6年生25人が、埋蔵文化財を守る人の仕事内容や思いについて知り、職業や働くことについて興味をもつことや、体験活動を通して、当時の人々の暮らしについて考えること等を目的に、職業講話、土器の分類、火起こしの3つの体験を行いました。

職業講話(発掘調査 と保存処理の話)



埋蔵文化財を守る仕事として、発掘調査、資料整理、保存処理、調査書刊行などがあることを学びました。特殊な仕事であることを知り、興味をもったようでした。また、湖西市には、湖西窯跡群があり、須恵器の大産地であったこと改めて認識しました。

「興味があって、もっと知りたい。調べてみたい。」



土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の土器片を、完形土器と見比べながら分類しました。土器分類の前に湖西の須恵器について学んでいたのですが、違いはわかりましたが、弥生土器との区別が難しかったようで、分類するのに苦労していました。時代によ



「おもしろくて良かった。意外に難しかった。」

によって土器の特徴の違いに気づくことができました。

火起こし体験

火起こしをしたことがない児童が多く、初めは弾み車を上手に回せなくて苦労しましたが、しばらくするとコツをつかんで、調子よく回すことができるようになりまし

た。弾み車を回していると、だんだん重くなってきて、火起こしの大変さを感じ取っていました。火が起きたときは、うれしそうでした。

「大変だったけど、うまくできた。」



先生方の感想

「職業について知るというねらいに沿った講話、昔の人の生活について知るというねらいに沿った体験でした。講話を通して子どもたちは、埋蔵文化財センターでのお仕事に興味をもっていました。身近にない職業で、それを知ることは、自分の知らない職業があることにも気づくことができました。火起こし体験を通して、今の便利さを知るとともに、古人の知恵にも触れ、様々なことに興味をもっていました。具体的なものがあったり、わかりやすい資料、説明があたりと、子どもたち一人ひとりが理解することができていました。とても良い体験をさせていただき、子どもたちにとって知ることが盛り沢山の授業でした。ありがとうございました。」

